

乳がんについて知ろう！あなたとあなたの大切な人のために！

日本では16人に1人がかかるといわれる乳がん。治癒率を高めるには「早期発見」が基本です。今回は、早期発見に有効な乳房専用PETのPEMについてご説明します。



宇都宮セントラルクリニック理事・医師
佐藤俊彦氏

・セントラルメディカル倶楽部顧問医
・野口記念インターナショナル画像診断クリニック院長

・主な著書
「100歳まで現役で生きる人のシンプルな習慣」(幻冬舎)、他多数

女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが、

特に、乳房温存治療

乳がん遺伝子検査(BRCA)異常のために、予防的乳房切除術を受けたのはなぜか？

PEMの分解能は、約4ミリの大きさであったため、乳房のように数ミリの腫瘤(しゅりゅう)を拾い上げることはできませんでした。

後には、乳房の変形によりマンモグラフィや超音波では見えにくくなるため、PEMはファーストチョイスの検査です。今年7月には、健康保険に収載される見込みです。

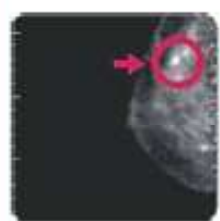
それは、マンモグラフィ検診では乳がんの約20%が原理的に見えなく、発見が遅れることがあるからです。

PEMは、半導体検出器を搭載したために約1ミリの分解能を達成、発見能力は約64倍に向上しました。早期の乳がんを発見できるので、乳房温存治療の患者さんにはお勧めです。

5mm以下の患部も鮮明な画像が撮影可能です

がんをPETで検診できないうまくないか？ そんな要望から生まれた画期的なシステムがPEMです。

PEMは、半導体検出器を搭載したために約1ミリの分解能を達成、発見能力は約64倍に向上しました。早期の乳がんを発見できるので、乳房温存治療の患者さんにはお勧めです。



2mmの患部

次回は「見えないがんを見つける～テロメスキャン～」のお話です。

乳がん検診実施中



医療法人DIC 宇都宮セントラルクリニック

宇都宮市屋板町 561 - 3
☎ 028・657・5215

<http://www.ucc.or.jp>

宇都宮セントラルクリニック 検索

PR